



マンガで見る！

理解のある介護例

4コマ漫画で、「認知症の人の気持ちに響く」理解ある介護を見てみましょう。

おしゃれ



介護のポイント

認知症になると身だしなみに無頓着になることも。でもお洒落ひとつで気持ちは変わるもの。自信や意欲向上にもつながります。

※ 介護保険サービスの利用や申請などもお気軽にご相談下さい。

(はるかぜ居宅 緒方)

はるかぜ居宅介護支援事業所

「主任ケアマネジャー」を知っていますか？

4月に行われた医療・介護報酬の同時改定。その際、はるかぜネットワークでも「マイケアマネジャー」の話題をお伝えしました。ケアマネジャーがこれからの医療・介護の調整役として大きな鍵を握っています。

さて、皆さんは「主任ケアマネジャー」というのを聞いたことがありますか？「事業所の中で所長さんの次に偉い人だろ？」と思っている方もおられるかもしれません。主任ケアマネジャーは、ケアマネジャーの上位資格。平成18年の介護報酬改定で新しくできた職種です。専任のケアマネジャーとして勤務した年数が通算5年以上、さらに必要な研修を受けて初めて主任ケアマネジャーの資格を取得することができます。いわばケアマネジャーのエキスパート。はるかぜ居宅介護支援事業所には2名の主任ケアマネジャーが在籍しています。

○ 主任ケアマネジャーのお仕事は？

主任ケアマネジャーは、通常の業務に加え、

- ・介護、医療、福祉さまざまなサービスのネットワーク向上
- ・ケアマネジャーへの助言や指導をするフォローアップ役
- ・地域の課題や特性を見極め、地域包括ケアシステムの実践者

といった役割も担っています。地域のケアマネジャーのまとめ役的存在で、広い視野と、豊富な経験・知識、問題解決のための専門的な技術が必要とされています。

○ はるかぜの主任ケアマネジャー



所長 山田 祐子



主任 中嶋 嘉代

はるかぜ居宅介護支援事業所に在籍している主任ケアマネジャーは2名。管理者の山田所長と、中嶋主任です。山田所長は看護師の資格を持ち、医療の分野に詳しいケアマネジャー。また中嶋主任は、介護福祉士の資格を持ち、介護現場の経験も豊富です。

人生の最期に向けて、トータルに関与していくケアマネジャーは医療・介護の幅広い知識が必要とされます。安心して相談できる場づくりを、主任ケアマネジャーを中心に事業所全体で取り組んでいきたいと思っています。